

# 〈申告書〉

記載例

第二十六号様式（提出用）

令和 8 年度  
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

令和 年 月 日

受付印

住所・氏名  
変更がある場合は朱書き訂正

電話番号を記入

個人番号又は法人番号

事業種目  
食品製造業

事業開始年月

この申告に協賛する者の氏名及び氏名

税理士等による申告の作成を委託している方は、その氏名及び電話番号を記入

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

16 市内の事業所の所在地を記入

17 事業所用家屋の所有区分

18 備考（添付書類等）

資産の種類	取得			計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
	前年以前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	
1 構築物				
2 機械及び装置	1,400,000	200,000	1,400,000	2,600,000
3 船舶				
6 工具、器具及び備品				
7 合計	1,400,000	200,000	1,400,000	2,600,000

(イ) 前年申告書欄の(ニ)が印字されます

(ロ) 前年中に除却した資産の取得価格の合計額を種類別に記入

(ハ) 前年中に取得した資産の取得価格の合計額を種類別に記入

(ニ) (イ)-(ロ)+(ハ)の額  
資産の異動がない場合には(イ)欄と同額を記入

資産の種類

1 構築物

2 機械及び装置

3 船舶

4 航空機

5 車両及び運搬具

6 工具、器具及び備品

7 合計

増減申告は記入不要  
全資産申告は記入が必要です。

資産の増減がない場合には‘増減なし’等記入してください。

増減申告：前年中に増減した資産を申告する方式  
全資産申告：賦課期日(1月1日)現在所有している全ての資産の評価額等を計算した上で申告する方式

# 〈種類別明細表〉

## 種類別明細書(増加資産・全資産用)

令和 8 年度

所有者コード

所有者名

減少した資産につきましては赤線を引いてください。

行番号	資産コード	資産の種類	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	評価額	課税標準額	増加事由	摘要
01	2		洗浄機	1	H306	200,000	10	0.0	0.0	○	2
02	2		印刷機	1	H311	800,000	10	0.0	0.0	○	3・4
03	2		冷却ユニット	1	R110	400,000	10	0.0	0.0	○	2
04	2		太陽光発電設備	1	R710	1,400,000	17	0.0	0.0	○	3・4
05											堅倉 835
06											1・2
07											3・4
08											1・2
09											3・4
10											1・2
11											3・4
12											1・2
13											3・4
14											1・2
15											3・4
16											1・2
17											3・4
18											1・2
19											3・4
20											1・2
小計						1,400,000					
						2,600,000					

増加事由に○印を付ける  
新品取得:1  
中古品取得:2  
移動による受入れ:3  
その他:4

耐用年数  
「減価償却資産の耐用年数に関する省令」に掲げる耐用年数を記入

摘要  
太陽光発電設備の場合は  
該当地番を全て記入してください(欄外可)

増減申告は記入不要  
全資産申告は記入が必要です。

記入不要

資産の種類に対応する1~6までの数字を記入  
構築物:1  
機械及び装置:2  
船舶:3  
航空機:4  
車両及び運搬具:5  
工具、器具及び備品:6

取得価格  
資産を取得するために要した費用(引取運賃、保険料、手数料、据付費等の付帯費含む)を記入

増加した資産は朱書きで記入

取得年月日を記入

注意 「増加事由」の欄は 1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受入れのいずれかに○印を付けてください